

教育の民主化（墨塗り教科書・仮とじ教科書）



上段左「カズノホナー」（教科書文庫昭和16-11）
 下段左「カズノホナー」（教科書文庫昭和16-10）
 上段右「初等科国語二」（教科書文庫昭和17-2）
 下段右「初等科国語二」（教科書文庫昭和17-3）

解説

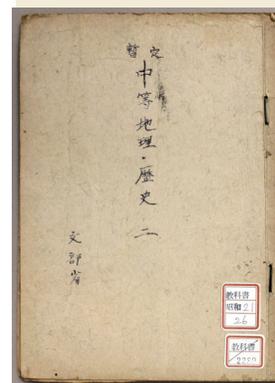
左の写真の下段2冊が、いわゆる「墨塗り教科書」です。

1945（昭和20）年8月の敗戦により、それまでの価値観が一変しましたが、とりわけ学校教育の場における変化は劇的で、GHQの意向に基づき徹底して教育の民主化がはかられました。この墨塗り教科書にはその変化の跡がはっきりと刻まれています。

9月から各学校で授業が再開されましたが、新しい教育内容に沿った教科書の作成が間に合わなかったために、従来の教科書の不適切な部分に墨を塗って授業が行われました。墨塗り教科書と墨が塗られていない教科書を比較すると、何が否定されたかを明らかにすることができます。当館の教科書文庫には各教科の墨塗り教科書が多数所蔵されています。

墨の塗られた教科書のほかに、ページごと切り取られ元の半分ぐらいの厚さになった教科書や、ページが開けないように糊で貼り合わせられた教科書もあります。

下の写真は、1946（昭和21）年発行の暫定教科書で「仮とじ教科書」とも呼ばれています。新聞紙のような紙に印刷された教科書が児童・生徒に配られ、それを自ら折りたたみ、とじ合わせて厚紙で表紙をつけて授業で使用しました。そのためページの大きさが不揃いになっています。



*教科書文庫 昭和21-26「暫定 中等地理・歴史二」
 *当館の教科書文庫には、江戸時代に寺子屋で使用していたものをはじめ、各時代の教科書が集められています。各時代の教科書を通して教育内容の変遷をたどることができます。